



秋田のみなさんこんにちは



秋田の地場企業にも

事業を展開していきたい！

昨年6月に秋田市の誘致企業認定を受けた株式会社エス・イー・プロジェクト。3つの柱を持つ同社が、なぜ秋田に新たに拠点を持ったのか。取締役社長・鈴木善憲さんにお話を伺った。



株式会社 エス・イー・プロジェクト
取締役社長
すずき よしのり
鈴木 善憲

〒010-0001
秋田市中通2-5-21
秋田東京海上日動ビルディング7階
TEL:018-853-0306
<https://www.se-project.co.jp/>



HP

地域の役に立てるなら、やりがいがある

同社の創業は1978年。コンピューター端末機の組立配線加工を主軸として事業を開始したのが始まりだ。本社は東京、川崎に支社があり、現在はソフトウェア部門、ハードウェア部門、そして建築部門という3つの事業を柱としている。ソフト、ハードの部門はいずれも取引先へ人材を派遣し、保守・運用の部分で企業をサポートすることが主な内容だ。そのため、システム開発の体制を充実するべく、新たな拠点を作りたいと考えていた。採用活動で秋田の専門学校を訪れた際、東北のどこかに支社を設けたいという考えを伝えたところ、すぐに秋田市の担当者から連絡があった。

「専門学校と秋田市の連携が素晴らしいと思いましたし、熱意も感じました。懇親会に参加したり、誘致企業を見学した中で、秋田の企業の皆さんは『秋田を何とかしたい』というお話をされていて、同じ仕事をするならこういった思いのある所で取り組んだほうがやりがいがあると感じ、秋田に拠点を作することを決意しました」。

新卒採用し、4月から稼働スタート！

今年4月1日、秋田支社の稼働が始まった。それに伴い、13名を採用。その多くが新卒社員だ。秋田支社では自社製品の開発業務と請負業務を行う計画だ。昨年内定を出した社員のほとんどが、昨年10月からインターンとして業務に参加し、研修を受けてきた。鈴木社長自身も秋田支社に常駐しており、自身が開発しているシステムの言語の使い方などをレクチャーし、今年2月頃から秋田の社員がシステム開発に取り組み、即戦力となっている。これまで、自社製のシステム開発が滞っていた部分を、秋田が中心となり動かしていく。

「当社はハードもソフトも作れることが強みです。今取り組みたいのは、運行管理表と連動するアルコールチェッカーの開発です。ゆくゆくはそれにプラスして勤怠管理・給与計算までを一気通貫で行えるシステムを開発し、たとえばバス会社やタクシー会社において業務効率化が図れる製品としたいです。秋田に拠点を作ったことで、ようやく腰を据えて取り組める状況になりました。」と鈴木社長は笑顔を見せる。秋田で作ったサービスが、全国で使われる日が待ち遠しい。



スタッフの多くが20代。真剣な眼差しで開発業務に携わっている。



システム開発で使う関数の役割を、鈴木社長がレクチャー。楽しそうに参加する社員の姿が印象的だ。



川崎支社に構える製造部門では制御盤や動力盤の製造を行っている。